

2025-2026 NEW PRODUCTS

土地と人の力で育った、富山プロダクツ

今年の新選定商品

TOYAMA PRODUCTS



[01] PANECO CLOCK / 掛け時計 / 株式会社タカタレノス / tel 0766-24-5731 [02] オリジナルグローブ / 名入れ手袋 / 勝星産業株式会社 / tel 0763-82-2696 [03] ダルマ箸置き / 箸置き / 有限会社佐野政製作所 / tel 0766-24-8908 [04] nordic-pot / 植木鉢 / 株式会社大井仙樹園 / tel 076-436-0545 [05] レインスーツエポリューション / レインウェア / 株式会社カジメイク / tel 0766-23-3322 [06] ツイストヴェール / LED電灯器具 / 株式会社二上 / tel 0766-23-8531 [07] 富山を羽織る「フォトブランケット」 / ブランケット / 株式会社スズニット / tel 0763-22-4128 [08] おともりん優 / 携帯おりん / 株式会社山口久乗 / tel 0766-22-0993 [09] 置くだけで通気・排水できるポットスタンド / ポットスタンド / 株式会社リッチェル / tel 076-478-2957 [10] ドゥーロ ポット、プレート / 園芸鉢・プレート / 株式会社リッチェル / tel 076-478-2957 [11] パードコル / 玩具 / 株式会社小泉製作所 / tel 0766-63-6590 [12] 福香「ロボット1号」「ロボット2号」 / 香立て / 有限会社中村製作所 / tel 0766-21-1821 [13] 福香「達磨」 / 香立て / 有限会社中村製作所 / tel 0766-21-1821 [14] 福香「招き猫」 / 香立て / 有限会社中村製作所 / tel 0766-21-1821 [15] ieria リビングドア / 建材 / DAIKEN株式会社 / tel 03-6271-7789 [16] meri / サウナマット / 有限会社へちま産業 / tel 0766-52-5454 [17] フレインフォルテ / 大型フェンス / 三協山株式会社 三協アルミ社 / tel 0120-53-7899



【富山プロダクツのマークコンセプト】

様々な可能性がある商品を『原石』にたとえ、その中から優れたものを選び出していく過程を『富』の漢字の中に原石を配置することで表現しています。

【富山プロダクツに関するお問合せ先】

富山県総合デザインセンター 〒939-1119 富山県高岡市オフィスパーク5番地
TEL:0766-62-0510 FAX:0766-63-6830 dc5@toyamadesign.jp ※商品の常設展示も行っております。
→過去選定商品についてはHPでご覧いただけます。products.toyamadesign.jp

【富山プロダクツが買える代表的なお店】

※下記の販売店に全ての商品の取扱いがあるわけではありません。商品が欠品している場合もございますので、予めご了承ください。

(公財)高岡地域地場産業センター
富山県高岡市御旅屋町101 御旅屋セリオ2階
TEL 0766-25-8283
takaokajibasan.or.jp
takaokajibasan.or.jp/shop

D&DEPARTMENT TOYAMA
富山県富山市新総曲輪4-18
富山県民会館1F
TEL 076-471-7791
d-department.com/ext/shop/toyama.html

ととやま
富山県富山市新富町1-2-3
CiCビル1階
TEL 0120-944-008
ikiiki-toyama.co.jp

日本橋とやま館
東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル1階
TEL 03-3516-3020
toyamakan.jp

このリーフレットは中越パルプ工業の「雷鳥上質」を使用しています。このリーフレットは電源立地地域対策交付金事業により作成しました。

Good design, made in Toyama

富山プロダクツがうまれる原点

The roots that give rise to Toyama products

自然が、歴史が、 ものづくりへの誇りをくれた。

Creativity that springs
from our special history and environment



寺院の梵鐘やおりん、全国各地のキャラクター銅像、復原された東京駅丸の内駅舎のアルミサッシ、世界トップシェアのファスナー。伝統産業から新産業まで、「ものづくり」が盛んな富山県。3,000m級の山々が連なり、晴れた日には雄大な姿を現す立山連峰から水深1,000mを越える富山湾まで、高低差4,000mのダイナミックで変化に富んだ地形。天然の巨大なダムともいえる山々からの豊かな水資源と水力発電が、ものづくり産業を支えています。また、加賀藩二代藩主・前田利長公の奨励に始まり、400年以上の歴史を持つ金工・漆工をはじめ、和紙、木彫、陶芸など、手仕事の技が今に受け継がれています。冬は雪に閉ざされ、豊かであると同時に厳しい自然の中で、先人たちはコツコツとひたむきにもものづくりと向き合ってきました。そうした実直な職人気質が、信頼性と質の高い製品を生み出しています。そして、進取の気性に富む富山の人々は、気鋭のデザイナーたちと組むことによって、現在のライフスタイルに合った意匠や機能を持つ商品開発にもいち早く取り組んできました。豊かな自然の恵み、受け継がれる手仕事の技、実直な職人気質、高いデザイン性、これらの要素が融合して質の高いプロダクトが富山から生み出されているのです。

Product creation is thriving in Toyama Prefecture. The industry is supported by abundant water resources and hydroelectric power generated from a varied topography stretching from the 3,000-meter peaks of the Tateyama Mountain Range to the 1,000-meter depths of Toyama Bay. With over 400 years of handicraft production history, including metalwork, lacquerware, Japanese paper, wood carving, and ceramics, Toyama has maintained traditional skills. It is home to highly reliable products made with genuine craftsmanship akin to the perseverance required to survive the region's harsh winter. In addition, highly enterprising people in Toyama have been working with energetic designers to quickly develop products with design and function for today's lifestyles. The prefecture offers high-quality products that combine the gifts of nature with handicraft techniques, genuine craftsmanship, and sophisticated design.

富山プロダクツ選定事業とは

About Toyama products

富山県内で企画または製造されている性能、品質及びデザイン性に優れた工業製品を「富山プロダクツ選定商品」として認定。富山ブランドとして国内外に情報発信し、企業の販路拡大を支援しています。選定事業は2002年にスタートし、これまでにさまざまな工業製品が選定されてきました。このリーフレットでは、富山プロダクツに選定され、富山ならではの独自のものづくりに取り組む企業をご紹介します。富山プロダクツ選定商品を生産・販売する企業には、商品の紹介パンフレット作成や、各種展示会への出品について県が支援を行うほか、共通シンボルマークの使用も認められます。そして、県が随意契約で購入できる「トライアル発注制度」の応募対象となります。さまざまな分野でのものづくりに取り組む県内企業の皆さんからのご応募をお待ちしています。

Products with outstanding performance, quality, and design that are planned or made in Toyama Prefecture can be selected and certified as "Toyama Products." The promotion of a certified product under the Toyama brand and the dissemination of relevant information worldwide helps local companies to expand their sales. This project began in 2002 and has selected many craft products. This leaflet introduces companies selected for Toyama Products, and active in manufacturing unique to Toyama. The companies that manufacture and sell Toyama Products are supported by the prefecture for creation of pamphlets describing the products and displaying them at shows and exhibitions, and are allowed to use the shared symbol to identify these products. We look forward to inquiries from companies in the prefecture.

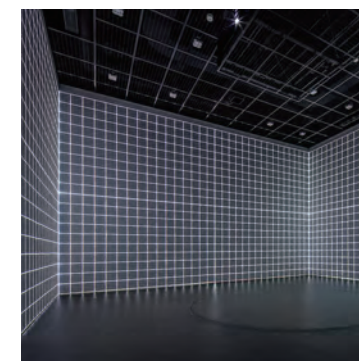


富山県総合デザインセンターのイノベーション支援

Innovation support at the Toyama Design Center

富山県総合デザインセンターでは、デザイナーとの連携や企業との共同開発、デザインコンペやワークショップの開催など、デザインで富山を元気にする様々な取り組みを行っています。イノベーション型のものづくりの拠点、クリエイティブ・デザイン・ハブ。さらに、VRを活用したバーチャルスタジオでは、大型3面シミュレーション装置、オンライン配信機器などを導入。発表会やセミナー等の各種イベントを、高品位で迫力のある映像でオンライン配信できます。その他、各種デザイン相談によるデザイナーの紹介や試作サポート、商品写真撮影など様々な商品開発や販路拡大を支援しています。お気軽にお問合せ下さい。

The Toyama Design Center is engaged in various initiatives to help revitalize Toyama through design, including collaborations with designers, joint development with companies, design competitions, and workshops. The center has the Creative Design Hub, a base of innovative manufacturing. The virtual studio utilizing VR has a large triple-screen simulation device and online streaming equipment. Impressive high-quality videos can be streamed online for presentations or events. It also introduces designers and provides support in many ways for product development and expanding sales routes, such as with mockup creation and taking photos of products.



サカエ金襴株式会社

Sakae Kinran Co., Ltd.

心と体をととのえる、ZAFのある新しい日常を。

A New Daily Rhythm with ZAF to Bringing Mind and Body into Balance



仏具を暮らしに合わせてリデザイン

日々の仕事や暮らし、SNS、AIなど溢れる情報に心身が疲れたとき、あなたはどんな方法でリフレッシュしているだろうか。ときには静かに坐禅して、いまここにある自分を見つめるのもいい。マインドフルネスの実践として、坐禅や瞑想は海外でも盛んに行われているとか。坐禅の姿勢を安定させるため、禅寺では坐禅蒲団、坐蒲(ざぶ)を使う。その伝統の形や製法は残しつつ、現代の暮らしに合わせてリデザインしたのが、坐禅や瞑想用のクッション「ZAF」シリーズだ。手がけるのは富山県高岡市にあるサカエ金襴株式会社。高岡銅器で知られるものづくりのまちで、創業以来、金襴など伝統の織物を使った布製仏具を製造、販売する。坐禅蒲団のほか、家庭や寺院用のりん布団や座布団、袈裟、お堂内の装飾品など、全国の間屋から注文を受け頼りにされる存在だ。代表取締役の竹澤賢人さんは、伝統の形が持つ大切な意味を、つないでいきたいと考えている。



合理的な知恵の形を受け継いで

サカエ金襴は約880種類もの金襴の在庫量を誇り、世界最大級のアーカイブをWebで公開。顧客も若手社員もどんな織物があるかをすぐに把握できるようになった。その貴重な伝統の織物を使い、僧侶の袈裟や寺院の装飾品のほか、りん布団も家庭用から寺院用まで、多彩な紋様とサイズの製品を手がけ

る。竹澤さんは語る。「りん布団は15枚の正方形の生地をサッカーボールのように斜めに縫い合わせ、布が互いに引っ張り合い、重いものをのせても裂けることはありません。仏具のつくり方は驚くほど合理的です」。それは坐禅蒲団も同じで、丸い基本形のZAFは、元々の製法を変えていない。側面には「ひだ」があり、座ると広がって、その人に合った適切な骨盤の角度に導いてくれると言う。「坐禅蒲団は江戸時代からあると言われていて、この形や構造は完成されたものだと思います。2600年の仏教の歴史の中で磨かれた形をいま変えるのではなく、その意味や必然性を理解して将来につないでいくのが、当社のものでつくりのモットーです」。

将来は子どもたちにも瞑想習慣を

以来、これまでにないカラフルな生地やニット素材、スポーツ用の生地を使ったZAF SPORTS、抗菌や耐熱素材を使ったサウナ用のZAF SAUNAも発売し、サウナ用が一番の人気商品に。サウナでの坐禅、「サ禅」のイベントもプロデュースするなど、サウナに着目したのも竹澤さんの経験からだ。「サウナが好きなのですが、座るときに姿勢が良くない方が多いのです。姿勢は自律神経にも影響すると言われますから、ZAFを活かせたらと」。



サウナ用はコンパクトなサイズで狭い空間でも使え、持ち運びも楽で枕にもなる。サウナと禅の組み合わせで心身が「ととのう」という異色のコラボは、特に若い世代の共感を得ている。そして、ZAFシリーズはホテルやさまざまな施設への導入が進む。今後、親子で瞑想ができるよう、小学生向けの商品を開発中だ。「海外では教育現場で瞑想を取り入れているところも多いんです。朝5分でも親子で瞑想する習慣があれば、姿勢や集中力も良くなるのではと。それがあたりまえになれば、日本にユニコーン企業がたくさん生まれる未来もあるんじゃないかと考えています」。仏教の歴史や伝統の技を礎に、ZAFによる心と体をととのえるストーリーは、さらに次の世代へとつながっていきそうだ。



マインドフルネスの広がり と ZAF の誕生

竹澤さんは京都の間屋での修行を経て、2016年に創業者である母の恵子さんのもとで仕事を始めた。「マインドフルネスがテレビ番組で特集されるとブームになり、2017年頃、仏壇屋さんのネット販売で坐禅蒲団が右肩上がりて売れるようになりました。一方、僕は仕事での行き詰まりから、心も体も疲弊してしまっ。自社で坐禅蒲団をつくっているのだから、一度、坐禅を体験してみようと富山市の最勝寺さんを訪ねました。40分座って、15分歩く禅をして、また、40分座って。初めての坐禅で体は大変でしたが、そのあと、いままでの不安が大したことがなく思えて、頭がスッキリしたんです。世の中にマインドフルネスが広まってきたことと僕自身の課題があって、2018年にはZAFを立ち上げました」。デザインは株式会社ROLEのデザイナー羽田純さんに依頼。タグのデザインが印象的だ。「曹洞宗の坐禅は壁に向かってするので、後ろから見て誰か分かるようにネームの部分は元からあるもの。それを新たなブランドタグとして羽田さんにデザインしていただきました」。竹澤さんがZAFにふさわしい素材を選び、羽田さんは新しい色を提案していった。



Founded in 1983 in Takaoka, Toyama Prefecture, Sakae Kinran holds around 880 varieties of kinran gold brocade and offers one of the world's largest online archives. Drawing on this precious traditional textile, it produces items ranging from monks' kesa robes and temple ornaments to rin singing bowl cushions for home and temple use. Inspired by the spread of mindfulness and his own zazen practice, President Masato Takezawa redesigned the zazen cushion, the style of which dates from the Edo era, to launch ZAF as a meditation cushion brand. "Rather than altering a form refined over 2,600 years of Buddhist history, our credo is to understand its meaning and intent to carry it forward," he says. Designer Jun Haneda of Studio Role is involved in the company's design and product development. The lineup now includes ZAF SPORTS for athletic use and ZAF SAUNA, made with antibacterial and heat-resistant materials, which resonates with younger consumers and is the brand's top seller. The ZAF series is used in hotels and various facilities, and a new model for elementary school students is being developed to encourage parent-child meditation. Grounded in Buddhist tradition and craftsmanship, the ZAF story is poised to connect with the next generation.

プロフィール

サカエ金襴株式会社は1983年に富山県高岡市で創業。布製仏具を手がけ、銅器生産で知られる高岡の地で異彩を放つ。約880種類もの仏具用の金襴を揃え、高価な本金の金糸を使い伝統の技で織られた生地など、そのコレクションはまさに圧巻でネットでも公開。最近では坐禅蒲団を進化させたファクトリーブランドZAFシリーズが、若い世代でも人気となっている。中国の大連に中綿を生産する社員数約100名のグループ会社があり、その製品は高い評価を獲得。商社を通じて日本国内のライフスタイルブランドや家具・インテリア販売の大手企業とも取引する。
公式サイト skinran.co.jp / 商品ページ zaf-zen.com

サウナ用クッション
ZAF SAUNA

「坐禅蒲団」をサウナ用にチューニングした瞑想クッション。側面のヒダがひろがりS字姿勢に導く。素材は耐熱、速乾性があり、洗濯機で丸洗いが可能。

株式会社 **タイワ精機**

Taiwa Seiki Corporation

つねに業界初、唯一無二の技術で米の文化を盛り上げたい。

Enhancing Rice Culture with Unique Industry-First Technology



令和の米騒動で精米の重要性を知る

令和の米騒動は、米の大切さを改めて実感する出来事となった。原油高など生産コストの上昇による価格高騰や米の需要が増えたことによる米不足。政府の備蓄米も放出されたが精米が追いつかず、消費者に届くまでには時間がかかった。備蓄米は玄米で、精米が必要だと初めて知った方も多いはずだ。そんな米の流通に欠かせない精米機の専門メーカーとして、日本有数の米どころ、富山にあるのが株式会社タイワ精機だ。この地で50年にわたり自社で精米機を開発、製造、販売する。最初は農家用の精米機から始まり、やがて店頭精米機などの業務用精米機、コイン精米機、そして、家庭用精米機MAIKOの製造販売も手がけている。一貫するのは、大手の下請けにはならず、唯一無二の精米機を自社で開発し、つくること。その気概に満ちたものづくりについて、代表取締役の石仙(こくせん)博男さん、取締役管理部長の杉木大輔さん、研究部部長の田中敏晴さんに伺った。

家庭用精米機で
業界初のぶづき米を

タイワ精機は1976年、故高井芳樹前会長が仲間と共に7人で創業。農家向けの精米機の製造・販売からスタートし、苦労の末に販路を開拓。現在は全国の約400の代理店・販売店と取り引きをする。1994年にはコイン精米機の製造・販売を開始し、社名をタイワ農機からタイワ精機に変更した。石仙社長は振り

返る。「創業者は先見の明がありました。1995年に食糧管理法が廃止されて米の販売が自由化されると、つきたてのお米が食べられることから店頭精米機がブレイクしたのです。農家用から業務用へとシフトしていった変革の時期でした」。当時、家庭用精米機は他社製もあつたが、さらに健康志向で、よりおいしさを求める、こだわりのある消費者向けに1999年に家庭用精米機「MAIKO」を発売した。「家庭用精米機でぶづき米ができる製品は業界初でした」。その後も「MAIKO」は改良され、玄米食に近い1ぶづき精米が可能になった。しかも、白米と同じように炊飯できるように。炊きあがりの食感も良く、玄米とほぼ同程度の栄養価があるという。

米にやさしい低温精米で
人気のMAIKO

「他社より先に、新たな特長のあるものを商品化することは創業以来、引き継いでいることです」と話す研究部の田中部長。2015年に発売された現行モデルの「MAIKO」は、さらなる「静音化」「コンパクト化」「デザイン性の向上」を実現。ESOLA FACTORYのプロダクトデザイナー宮田孝典さんとともに、いまのキッチンに調和する形やカラーの検討を重ねて完成した。田中部長は「私たちの精米機は業務用と同じ原理を採用し、お米どうしをすり合わせることで、ぬかをやさしく取り除きま



す。低温精米でお米の温度も高くならず水分が保持されるため、炊飯時の味わいも格段に違うのです」と説明する。「MAIKO」は1ぶづきから白米まで、好みに合わせ15段階の調整が可能。精米時には、米とぬかがトレイに分かれて出てきて、取り出しや洗浄も簡単だ。中の掃除も1週間に1回ほどでよく、工具がなくても可能。米びつ機能もあり、そのまま米を入れておくことができ便利だ。価格は10万円近くと高価だが、ネット販売で人気となり、性能の良さで多くの利用者から高評価を得ている。そして、2024年には「うまみ精米」を可能にしたコイン精米機を発売した。

Since its founding in 1976 in Toyama, one of Japan's foremost areas for rice production, Taiwa Seiki Corporation has developed, manufactured, and sold rice mills for the domestic and international markets. These include commercial models, coin-operated models, and the home rice mill MAIKO. Its constant commitment is to develop and build its own unique rice mills rather than become a subcontractor to major firms. The MAIKO is the first home model able to partly polish rice. It can polish rice in 15 different stages, from lightly milled to fully polished rice, offering quiet operation and a refined design. Its low-temperature milling equivalent to that of commercial models retains the rice's moisture and enhances flavor when cooked. These features have boosted its popularity in online sales. In 2024, the company launched a new coin-operated model enabling Umami Milling. This proprietary technology preserves the invisible umami layer between the starch and bran layers, thus creating new market value. Toward its 50th anniversary in 2026, the company is developing its new rice mill. As President Hiroo Kokusen puts it, "Through our rice mills, we hope to help revitalize Japan's rice culture and contribute to sustainable agriculture and society."

プロフィール

富山市郊外の田園地帯そばに本社を置く株式会社タイワ精機は1976年創業。2026年には50周年を迎える。業務用精米機、コイン精米機、家庭用精米機などを手がける精米機専門メーカー。その販売網は国内外に広がる。ハワイ、ニューヨーク、シンガポール、香港、台湾では日本スタイルの精米機が稼働し、日本食レストランではおにぎりやお寿司がつけられている。また、中国、台湾、タイなどでは長粒種用に改良した精米機を販売。日本の米業界、食文化を支え、世界の食文化にも貢献する。石仙社長自身も2ヘクタールの田んぼで米づくりに汗を流す。
公式サイト taiwa-seiki.co.jp

精米機
MAIKO PL-03A

業務用技術をそのまま活かした本格派家庭用精米機。玄米を食べやすくする1ぶづきから白米まで、お好みに合わせて15段階で調整可能。



最新の「うまみ精米」で50周年とその先を目指す

「うまみ精米」とは、どんな方式なのか。田中部長は「果物の皮の近くにうまみがあるように、デンプン層とぬか層の間に目には見えない『うまみ層』があります。お米に与えるストレスを軽減し、そのうまみを残した新たな精米方法です」と説明。同社のコイン精米機での「うまみ精米」には追加料金が必要だが、利用者も着実に増えていると石仙社長。うまみ精米は新しい市場価値を生み出している。「味覚が敏感な子どもが違いに気づいて、うまみ精米に切り替える家庭もあります」と笑顔を見せる。そして、いま、2026年の創業50周年に向けて新たな精米機を開発中だ。杉木取締役は「富山は米どころであり、工業県でもあります。ユーザーの声が近くで聞けて、高精度な部品を供給する協力会社が多い。それが技術開発の大きな強みになっています」と語る。営業が顧客の要望を聞くほか、会社の敷地内では最新のコイン精米機が稼働し、利用者の生の声をノートなどで収集して改良へつなげる。石仙社長もこれまで以上に明確なビジョンを打ち出し、タイワ精機独自の製品開発で米業界を盛り上げ、持続可能な農業と社会の発展に貢献したいと語る。

